

スポーツ実技Ⅰ ((球技系スポーツ))

科目ナンバリング SPS-103
【Ⅶ】 選択 1単位

各クラス共通

1. 授業の概要(ねらい)

球技系種目として、ボールを使用しての実践を行うが、あくまでも人と人との関係性を重要視しているため、なるべく多くのメニューにおいて対人系の連係を必要とする練習を行う。

具体的には、バスケットボールやサッカーなどにおけるパスの役割を理解させ、ボールを繋げることからシュート、スパイクなどの得点がとれることを学習させる。

2. 授業の到達目標

球技の特性を理解、学習することで、特にチームスポーツにおける人と人とのコミュニケーションや協調性を重要視し、普段の日常生活や大学生活の中では体験することのできない、スポーツを通しての人間関係作りを推進する。

スポーツ実技Ⅰにおいては、個人技術、チーム戦術についての基本的アプローチを行う。

3. 成績評価の方法および基準

2/3以上(10回以上)の出席が必要。さらに授業内の取り組みや協調性、達成度合いを重視する。

欠席、見学、遅刻、早退は減点の対象となる。

4. 教科書・参考文献

参考文献

参考文献: 各種目における『指導教本』や『スポーツマガジン』

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 ※このシラバスは、複数教員が担当する共通シラバスである。
オリエンテーション。授業の進め方や授業成績の評価方法、服装などについての説明、など。
- 【第2回】 準備運動、ストレッチなどの徹底。種目特性についての説明。
- 【第3回】 スポーツを行う上でのマナー、エチケットの説明。道具、用具の確認。
- 【第4回】 それぞれのスポーツを行う上での必要な身体的トレーニングの理解と実践。
- 【第5回】 それぞれの種目特性における基本動作についての理解。
- 【第6回】 筋力トレーニングの必要性和理解。各種目に通じる身体適応の理解。
- 【第7回】 筋力トレーニング(全身のバランスを重視する)。
グループ学習(メンバーの確認)。
友達のパフォーマンスのチェックと改善ポイントの示し方の学習。
- 【第8回】 筋力トレーニング(スピード、瞬発力を重視する)。
グループ学習(協力、補助を重視)。
友達のパフォーマンスのチェック。相互理解とレベルアップのポイント提示。
- 【第9回】 筋力トレーニング(各種目に応じた個所を重視)。
パフォーマンスのビデオ撮影。
- 【第10回】 教室において、ビデオ公開と各人パフォーマンスの長所、短所の見分け方。
- 【第11回】 ビデオ上映による、客観的分析とそれに基づくパフォーマンスの改善。
- 【第12回】 それぞれの種目における試合形式の理解。
- 【第13回】 試合に向けた運営の準備と実践。
- 【第14回】 試合形式による総合実践Ⅰ(個人技術の確認)。
- 【第15回】 試合形式による総合実践Ⅱ(友達のパフォーマンスの評価)。